

英語俳句サイト Shiki の奇跡 — Shiki Team 年代記

墨岡 学[†] 井上博民^{††} 和田 武^{†††} 田中喜美代^{†††} BOGDAN DAVID RICHARD^{†††}
 松山大学[†] 愛媛県監査事務局^{††} 愛媛大学^{†††}

1. 1994 年の Shiki Team 誕生まで

はじめに、松山大学、愛媛大学、愛媛県庁、愛媛県国際交流センター、および愛媛新聞社に所属する有志が集まって「Shiki Team」がスタートした流れを解説する。その直接の契機は、NCSA で開発された MOSAIC を愛媛県中小企業情報センターが発行する月刊誌 1994 年 4 月号において「隠れた情報源を探る」と題して墨岡が紹介したことからのだった。要旨は、技術移入の際、和魂洋才の精神がなければ日本の情報処理分野において今後インターネットの世界において日本の文化に根付いた発展が難しいのではないだろうという内容だった。

この小論を偶然に目にした愛媛県庁統計課のある職員が墨岡を訪ねて来たところからこの英語俳句サイト「The Shiki Internet Haiku Salon」がスタートするきっかけは誕生した。

さらに愛媛県国際交流センターでは、英語俳句のサークル(EPIC)が活動をはじめてから、ほぼ 3 年が経過した頃であった。このような松山地域の俳句ボランティアの流れもあった。また、愛媛大学を最初にインターネットに接続した和田と墨岡の協力関係から、松山大学で作った Web サイトをインターネットで公開することができたといえる。

2. The Shiki Internet Haiku Salon

Shiki Team の手によって、松山大学において <http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~shiki/> を公開すると同時に、国際 HAIKU サイトをスタートした記事を rec.art.poems などのネットニュースに投稿した。スタートして間もなくこれらの Shiki Haiku Salon コンテンツに追加されたも

のに、松山商科大学の第四代学長(1969-1974)であった八木亀太郎の作品「Messages from Matsuyama」がある。八木元学長は言語学者でありペルシャ語の研究者であったが、俳句についても造詣が深かった。

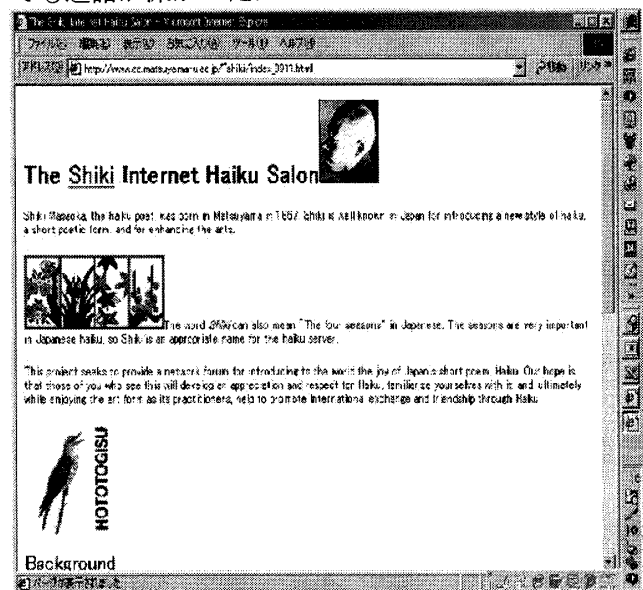


図 1. The Shiki Internet Haiku Salon

3. Shiki Mailing List の発展

我々が知っている範囲では、1994 年 7 月 7 日に Shiki Internet Haiku Salon が誕生するまでに存在した英語俳句サイトは Dogwood blossom であった。しかしながら、メーリングリストは短詩型文学ジャンルにはなく、まだネットニュース(Usenet)の時代であった。英語俳句サイトとして、初めて Majordomo を利用して運営され始めたメーリングリスト(Shiki mailing list)となった。さらに翌月から投稿をアーカイブし、Hypermail を使って 1994 年の 8 月からインターネットに公開しはじめた。この Shiki List のアーカイブが世界に名前を広げ、海外の俳句協会が着目し世界に Shiki List の名前を広めるきっかけとなった。アメリカ俳句協会、イギリス俳句協会会員が多数 Shiki List に参加してきた。これら協会会員たちによる Shiki List 育成への貢献によって、また新たな俳句作家が何人も産み出されていくこととなった。

The Shiki Team Chronicles: the Remarkable Story of the Shiki English-language Haiku Site.

[†]Manabu Sumioka, Faculty of Business Administration, Matsuyama university.

^{††}Hiromi Inoue, Ehime Prefectural Government.

^{†††}Takeshi Wada, Center for Information Technology, Ehime University.

^{†††}Kimiyo Tanaka, Institute for International Cooperation, Ehime University.

^{†††}Bogdan David Richard, Faculty of Education, Ehime University.

4. Shiki Internet Haiku Contest

メーリングリストへの参加者と活動の輪が広がるにつれて、仮想的なネットの世界ではなく実際に松山に来てもらって HAIKU を作ろうという意識が Shiki Team 内で高まった。そこでコンテストを 1995 年 7 月 7 日に行い、参加者を Shiki Team の資金で俳句のメッカ松山に招待する計画が立てられた。コンテストでは選者を置くこともなく、招待者 (=Shiki Team=スポンサー) の意向重視でもなく、参加者の互選方式を採用した。

第 1 回目の優勝句

suprising cool breeze
disturbs the grass shadows
on an open book
— AC Missias

Shiki List 内でこの互選方式について具体的な手順と採点方法が定式化された。第 2 回以降もコンテスト優勝者を松山に招待し、滞在記をレポートしてもらう方式が定着する。Shiki Team は、1998 年 9 月にアメリカ俳人・詩人との交流のためにロサンジェルス、スケネクタディ、ボストン、ワシントンにインタビューなどの調査旅行を行った。さらに 2000 年 8 月にロンドンでの「世界俳句フェスティバル 2000」に参加したことから、愛媛県の国際 HAIKU 賞にかかわることになっていった。

5. その後の活動

(1) しまなみ海道開通記念国際 HAIKU コンベンション協力

この国際 HAIKU 大会のため、当時の愛媛県理事西村英俊氏と協力し愛媛県県民文化会館に STNet の専用線を引き込み 1999 年 9 月に国際 HAIKU 賞を授賞した Yev Bonnfor 氏の授賞式インターネット動画中継を STNet と協力して行った。

(2) ロンドンでの「世界俳句フェスティバル」参加

2000 年の 8 月に 'The Future of The Shiki Haiku Salon' の題でオックスフォード大学ヘイントン・キャンパスにおいて Shiki Haiku Salon について講演を行う。

(3) Shiki Haikusphere

2003 年 1 月に英語俳句サイトを Haikusphere の名前で再構築し、サーバを愛媛大学総合情報センター (当時) 内の SINET ノードに設置する。メーリングリストの名前 NOBO は、21 世紀に向けて新たな出発の意志をあらわし子規の幼名・昇から命名した。古い Shiki List は、アーカイブし、新たに Nobo List の運営を始めた。造語

Haikusphere の名前の発案は、田中と墨岡による。(4) Haiku North America 2005 に参加

2005 年 9 月に米国シアトルで行われた北米俳句会議 (Haiku North America 2005) にシキチームとして参加した。田中が、愛媛県の南予地方出身の俳人芝不器男を取り上げ「Kudzu Vine & Old Pond」の題で講演を行った。墨岡は Shiki Team の活動を報告したあと、中世日本人の数学嗜好と和歌等に組み込まれたパズルについての話を行った。

(5) The Shiki Special Kukai in memory of William J. Higginson

愛媛県・愛媛県文化振興財団による正岡子規国際俳句賞事業 国際 HAIKU フェスティバルの 2009 年 2 月開催に協力した。これに先立ち Shiki Team のよき協力者であった William J. Higginson 氏を記念した「The 2009 Shiki Special Kukai」を 1 月に開き、最優秀句に Dorota Pyra の句が選ばれた。

whiteness
the water falls
into its sound
— Dorota Pyra

2009 年 8 月にポーランドの Gdańsk からピラさんを松山に招待した。ピラさんと Shiki Team の話し合いの中で、最優秀に選ばれた彼女の句はポーランド語で書かれ、それを英語 HAIKU サークルの友人が英訳したことがわかった。この事実は、Shiki Team のメンバーにとって、我々が 15 年の間続けてきた HAIKU サイト が言語の壁を越え、遠く離れた国との間にある距離を飛び越えた存在として、Haikusphere の役目を果たしていることを実感できた。

6. おわりに

Shiki Team の活動は、日本の俳句の楽しさを世界の人々と分かち合うためにインターネットを活用することに始まり 15 年が経過した。もちろんインターネット普及以前から国際俳句として日本人が俳句を英語で広める組織はあった。さらにもっと古くは英米人が日本の短い詩に興味を持ちソネット (十四行詩) のように、俳句を英語文化圏に紹介しそれぞれのサークルを作る動きもあった。我々は、1994 年というちょうどグローバルなネットワーク・システムが誕生し急速に普及する兆しをみせはじめた時期にあつて日本の四国に位置する小都市松山、俳句のメッカにサーバを設置し、俳句文化を HAIKU サイトとして紹介することができたのは幸運であった。